

移住人05 あらの こういち 荒野 晃一 (1978年生)

行方で生まれて、銚田一高から茨城大学工学部へ進学し、就職先にはメーカーもあったが、安定的な仕事を選択し、地元の麻生町役場に2002年採用された。市町村合併の前だった。

結婚して妻との仕事の関係もあって潮来にも住んだが、妻が北茨城出身でまちの規模感も似ているなどの関係で、職場は行方だが2007年に鹿嶋へ移り住むことになる。

今度、子供が中学1年と小学4年で、小さい時は学童や児童クラブ、習い事など、子供を通じた鹿嶋での交流が中心であった。週末土曜日の習い事は、私もお付き合い出来る時間である。

私が行方市から行方市まちづくり推進機構に出向となる前に、まちづくり鹿嶋に来て、まちの話をしたのがきっかけで、まちづくり鹿嶋が実施している鹿島神宮の月末の掃除にも参加させてもらうなど長く鹿嶋に住んでいてこれから出来ることを考える。

また、まちづくり推進機構では、ふるさと納税も行っているのので、行方の事業者とも日々、交流するという地域を跨いだ鹿行の良さを感じるのである。

インタビュー



COMPANY

2022 年に行方市からまちづくり推進機構へ出向しての仕事



一般社団法人行方市まちづくり推進機構

当機構は、行方市の観光及び農畜水産事業の振興計画である「行方市観光振興計画」及び「行方市6次産業計画」に基づく事業について、行方市と連携し市内の観光資源の再発見及び開発を行い、市の魅力を国内外に向けて情報発信を行うとともに、特産品の販売や地域資源を活かした「まちづくり」を行う目的により設立した組織です。

行方市の特産品の販売

行方市地域の農水畜産物や有効活用した6次産業化商品や連携市町村の特産品等を販売します。

●行方ビール「行方の紫福」

紫芋の新品種「ふくむらさき」を使用した紫芋ビール
(一社)行方市まちづくり推進機構のみの卸売となります

●NAMEGATA ICE

サツマイモ、イチゴ、トマト、大葉、
スパイシー生姜、芋焼酎の6種類

●さつまいものお菓子

スイートポテト、お芋パイ、焼き芋サブレ

●レトルト食品

行方米豚カレー、行方米豚丼

行方市の豊かな自然を活かした観光事業

行方市観光帆引き船事業

霞ヶ浦(麻生・玉造沖)湖上において期間限定で観光帆引き船を運航します。

地域資源を活かしたまちづくり

ナショナルサイクルルートに認定されているつくば霞ヶ浦りんりんロードや日本で2番目に大きな湖である霞ヶ浦を活かした観光事業を国内外に向けて発信します。

沿革

令和3年3月 設立

令和3年4月 行方市特産品卸売販売事業

ECサイト「なめがたさんちの特選マルシェ」運営事業

行方ビール「行方の紫福」卸売販売事業

行方市ふるさと応援寄附金返礼品事業者業務

令和4年6月 行方市ふるさと応援寄附金中間事業者業務

企業概要

会社名 一般社団法人行方市まちづくり推進機構

所在地 311-3892

茨城県行方市麻生1561番地9

TEL 0299-72-0811

FAX 0299-72-2174

【事業所】

所在地 〒311-1704

茨城県行方市山田3282-10

行方市農業振興センター内

TEL 0291-32-7561

FAX 0291-32-7562

設立 令和3年3月

代表者 代表理事 永峰英明

従業員数 6名